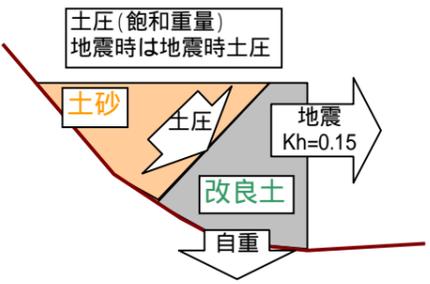
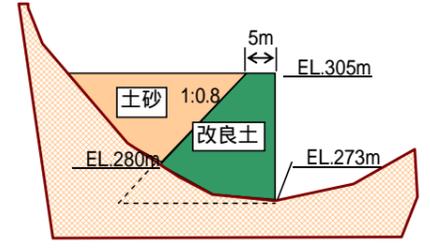
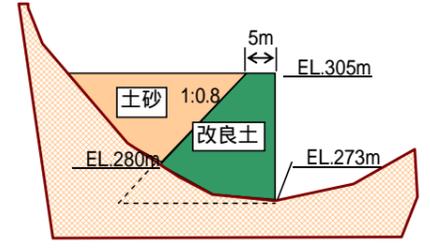
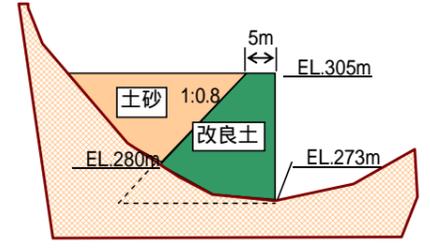


§ 3 迫地区貯水池斜面对策の検討

事項	要点	備考																													
<p>3-5 抑制工の概略設計</p> <p>1) 護岸擁壁の安定計算</p>	<p>・ 前面鉛直で擁壁工の安定検討を行った結果を以下に示す。                  ・ これより、安定条件を満足することを確認した。(現地条件より支持力も問題ないと判断できる。)</p> <p>検討ケース                  抑制工の護岸擁壁工〔A1タイプ：土砂盛土案の場合〕において、常時と地震時を対象に安定計算を行った。</p> <p>検討条件</p> <p style="text-align: center;">表 3-5-1 安定条件</p> <table border="1" data-bbox="578 640 1944 955"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>常時</th> <th>地震時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転倒に対する安定</td> <td>合力(<math>\frac{m}{V}</math>)の作用点が中央3分点以内</td> <td>合力(<math>\frac{m}{V}</math>)の作用点が中央2/3以内</td> </tr> <tr> <td>滑動に対する安定</td> <td><math>F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})</math>が1.5以上</td> <td><math>F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})</math>が1.2以上</td> </tr> <tr> <td>地盤の支持力に対する安全</td> <td>地盤反力度が(許容支持力度)以下</td> <td>地盤反力度が(許容支持力度 × 1.5倍)以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">                        図 3-5-1 荷重条件                 </p> <p>安定計算結果                  安定計算結果を以下の表に示す。天端を5mとした場合、背面の勾配は1:0.8であれば安定条件は満足する結果となる。</p> <p style="text-align: center;">表 3-5-2 安定計算結果</p> <table border="1" data-bbox="682 1186 1825 1585"> <thead> <tr> <th rowspan="2">前面擁壁セメント改良土案</th> <th rowspan="2">荷重状態</th> <th colspan="3">安定解析結果</th> </tr> <tr> <th>転倒 (計算値&lt;基準値)</th> <th>滑動 (計算値&gt;基準値)</th> <th>必要地盤反力 (kN/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">  </td> <td>常時</td> <td>2.008&lt; 4.167</td> <td>3.173&gt; 1.500</td> <td>1075.5</td> </tr> <tr> <td>地震時</td> <td>3.200&lt; 8.333</td> <td>1.715&gt; 1.200</td> <td>958.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	常時	地震時	転倒に対する安定	合力( $\frac{m}{V}$ )の作用点が中央3分点以内	合力( $\frac{m}{V}$ )の作用点が中央2/3以内	滑動に対する安定	$F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})$ が1.5以上	$F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})$ が1.2以上	地盤の支持力に対する安全	地盤反力度が(許容支持力度)以下	地盤反力度が(許容支持力度 × 1.5倍)以下	前面擁壁セメント改良土案	荷重状態	安定解析結果			転倒 (計算値<基準値)	滑動 (計算値>基準値)	必要地盤反力 (kN/m <sup>2</sup> )		常時	2.008< 4.167	3.173> 1.500	1075.5	地震時	3.200< 8.333	1.715> 1.200	958.3	
項目	常時	地震時																													
転倒に対する安定	合力( $\frac{m}{V}$ )の作用点が中央3分点以内	合力( $\frac{m}{V}$ )の作用点が中央2/3以内																													
滑動に対する安定	$F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})$ が1.5以上	$F_s(\frac{V \cdot \mu + C_B \cdot B}{H})$ が1.2以上																													
地盤の支持力に対する安全	地盤反力度が(許容支持力度)以下	地盤反力度が(許容支持力度 × 1.5倍)以下																													
前面擁壁セメント改良土案	荷重状態	安定解析結果																													
		転倒 (計算値<基準値)	滑動 (計算値>基準値)	必要地盤反力 (kN/m <sup>2</sup> )																											
	常時	2.008< 4.167	3.173> 1.500	1075.5																											
	地震時	3.200< 8.333	1.715> 1.200	958.3																											